

## 遠野のもの・こころ海外交流プロジェクトの経緯及び今後の対応について

### 1. これまでの経緯

時期	内容
平成 27 年 5 月 21 日～	遠野市産業振興部商工観光課において、台湾に輸出する食品に関する産地証明書が発行事務を開始。
9 月 11 日 ～12 日	台湾高級スーパー裕毛屋の謝社長が遠野市を訪問。 道の駅遠野風の丘や多田自然農場を視察。
11 月	遠野スタイル創造・発展総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）を策定。 重点プロジェクトとして、六次産業化の推進が位置付けられる。
平成 28 年 3 月	第 2 次遠野市総合計画を策定。 共通優先方針として、六次産業化の推進が位置付けられる。
3 月 27 日	石破内閣府特命担当大臣（地方創生）が来遠。 市長と議長から、地方創生の実現に向けたまちづくりを要望。
5 月 23 日	遠野市政策会議で地方創生推進交付金実施計画を議題に検討。 生涯活躍のまちプロジェクトと海外経済交流プロジェクトの 2 事業を地方創生で申請する方針が結論とされた。
5 月 29 日 ～6 月 2 日	岩手県台湾訪問ミッションに、遠野市職員 5 名を派遣。 観光・物産調査及び伊能嘉矩業績調査を実施。
6 月 13 日	地域再生計画（とおのもの・こころ海外経済交流プロジェクト）、地方創生推進交付金実施計画（とおのもの・こころ海外経済交流プロジェクト）を、県を通じて申請。
6 月 21 日	台湾訪問ミッション報告会を開催。 市内観光関係者等約 200 人が出席。
6 月 23 日 ～26 日	遠野ふるさと公社が、いわて・TAIWAN 経済交流ミッションに職員 1 名を派遣。 現地企業との商談会等の様子を視察。
8 月 2 日	地方創生推進交付金対象事業が決定。 交付金申請上限額（8,372 千円）が内閣府から岩手県を通じて内示される。
8 月 23 日	遠野市と北日本銀行が「地方創生の連携に関する協定」を締結。
8 月 30 日	地域再生計画を内閣総理大臣の認定を受ける。
9 月 8 日	遠野・台湾 経済交流会準備会開催。 ※10/27 発足の遠野のもの・こころ海外交流推進委員会の個別部会として活動
9 月 20 日	遠野・台湾 経済交流会①開催。 JTB 東北 武田研二地域交流事業担当部長を講師に、国内のインバウンド対応状況等を研修。
10 月 25 日	遠野・台湾 経済交流会②開催。 菅沼レイブンさんを講師に、台湾の商慣習やインバウンド対策等を研修。
10 月 27 日	遠野のもの・こころ海外交流推進委員会が発足。
11 月 1 日	東北経済産業局長が遠野市を視察。 遠野ふるさと村や多田自然農場を視察。
11 月 1 日	遠野のもの・こころ海外交流プロジェクト 遠野市長の台湾訪問を公表。

## 2. 今後の対応(予定)

時期	内容
平成 28 年 11 月 3 日	オール遠野で観光まちづくり推進セミナー開催。 日本版DMOについて研修。
平成 28 年 11 月 10 日	台湾スーパーマーケット商談会を開催。 裕毛屋の謝社長が再来遠。地酒・地ビール製造の様子等も視察。
11 月 13 日 ～16 日	遠野のもの・こころ海外交流プロジェクト 遠野市長の台湾訪問 [行程] 11/14(月) 台湾大学訪問 11/15(火) 台中市高級スーパー裕毛屋訪問
12 月 6 日 ～10 日	東北プロモーション in 台湾 2016 台湾訪日誘客事業に参加。 観光関係者による台湾訪問。
平成 29 年 2 月 24 日 ～26 日	いわて・遠野物産展(仮称)を、台湾高級スーパー裕毛屋で開催。
3 月	日本外国特派員協会での物産展開催。(調整中) 在日外国人報道関係者を対象に遠野の物産をPR。
7 月 21 日 ～11 月 23 日	伊能嘉矩生誕 150 年記念(伊能嘉矩と台湾研究)特別展を、遠野市立博物館で開催。
11 月 15 日 ～平成 30 年 1 月 15 日	国立台湾大学図書館展示室で、伊能嘉矩パネル展(仮称)を開催。

上記のほか、岩手県や関係市町村等と連携して、文化・観光・物産に関わる事業を随時実施していきます。